



市民による国際文化交流イベント



しら ひび
草原の調べ、響け湖畔へ！

モンゴル国立子ども宮殿少年少女合奏団

大津公演



モンゴルの大自然にはぐくまれた子ども達による民族音楽の演奏や演技が、自然の抒情溢れる琵琶湖畔で伸びやかに響き、躍動します。モンゴル民話「スーホーの白い馬」で知られる馬頭琴などの民族楽器の演奏や、草原に響き渡るホーミーやオルティンドー(民謡)の歌唱で澄み切った大草原の風を感じ、民族舞踊は大地の鼓動を心に刻みます。秋の一夜モンゴルの子ども達がお届けする楽しく、感動的なステージをご家族の皆様でお楽しみください。

2018年

11.6 (火) 18:30~20:30 (開場18:00)

ピアザホール (ピアザ淡海・滋賀県立県民交流センター)
京阪石坂線「石場」駅徒歩5分

入場料: 大人 前売り 1,000円 当日 1,300円 (全席自由)
高校生以下 500円

- チケット販売場所 TSUTAYA BOOKSTORE (Oh!Me大津テラス店)
民族楽器コイズミ (京都市中京区下本能寺前町)
大津市民会館、大津公演実行委員会
- お問い合わせ 大津公演実行委員会 tel 090-7114-2625
tel 080-2532-8964
- 主催 モンゴルフレンドシップ協会大津公演実行委員会
- 協力 京滋モンゴル友好市民ネットワーク
- 協賛 (株)叶匠壽庵、(株)ボンズカンパニー、(株)日吉、コープしが
- 後援 在大阪モンゴル国総領事館、滋賀県、滋賀県教育委員会
大津市、大津市教育委員会、京都新聞、びわ湖放送

モンゴル国立子ども宮殿少年少女合奏団 アヤラググループ プロフィール

モンゴル国立子ども宮殿は、校外活動で習い事をして楽しむ場として1958年に創設。アヤラグ（メロディーの意味）グループは、1980年からB.エンフトヤ先生の指導により民族音楽の演奏や伝統舞踊の習得活動を行ってきました。モンゴルの伝統的な歌を歌うほか、民族楽器（フーチル、ヨーチン、馬頭琴、琴）を演奏したり、民族舞踊やアクロバットを演じたりします。モンゴルや海外のいろいろな子供フェスティバルに出場して多くの金メダルや賞を獲得しています。ロシア、ポーランド、ブルガリア、フランス、トルコ、イタリア、アメリカ、インドや日本、韓国、中国といった多くの国で演奏活動を行って、高い評価を得ています。団員数は約50名で、今回の来日メンバーは8歳から16歳までの約20名の子供達で構成されます。



モンゴル少年少女の響きが国際交流の輪となることを願って 在大阪モンゴル総領事館 総領事 タワードルジ・デルゲルツォグト



日本で一番大きい湖である琵琶湖のある滋賀県大津市で、モンゴル国立子ども宮殿少年少女合奏団の演奏や演技を皆様にお届けできることは大変嬉しく思います。モンゴルの人口は約318万人ですが、15歳以下の人口が約27%と高く、若い人たちの活躍が期待されています。日本でもモンゴルでも世界どこであっても、未来を拓いていくのは若い人たちです。若い人たちが国境を超えて異なる文化に触れ、視野を広くすることが大切でしょう。この公演を切っ掛けにして、皆様とモンゴルの交流が一層深まることを願っています。どうか公演を楽しんでください。

モンゴル国立子ども宮殿少年少女合奏団 大自然の恵みを共有できる大津公演に寄せて 前滋賀県知事 嘉田由紀子

このたび、草原の国モンゴルから子供達による民族音楽、舞踊などの合奏団を大津に招聘し市民による国際文化交流イベントとして大津公演を実施されるとのこと、大変うれしくお喜び申し上げます。思えば2年前の11月1日、市民によるモンゴル国立馬頭琴交響楽団大津公演を実行委員長として実施し、モンゴルの民族音楽に触れ、その芸術文化の深さに感嘆し、大津市民会館満席の聴衆に大きな共感と感動を与えたことを思い出します。



2018年8月11日バヤンツォグト村にて

その後、両国市民の交流が深まり今回国立子ども宮殿少年少女合奏団の大津公演に結び付き、市民による国際交流が着実に進んでいる事をととてもうれしく思います。

実は私はこの夏にはじめてモンゴルを訪問し、草原のゲルでの宿泊を経験しました。夜は満天の星に感動し、昼は遊牧家族が夫婦で力をあわせて羊の命をさばいて下さり、内臓のスープと石焼の肉をいただき、まさに大草原の恵みが体の中にしみわたり、生命の感動をいただきました。大草原の自然は家畜なしに人間の命につながりません。そんな大自然に寄り添ったモンゴルの遊牧の暮らしこそ、日本の子どもたちに体験してほしいと切に願いました。そして今回は、草原の大自然に生かされてきたモンゴルの子ども達が、琵琶湖に生かされている滋賀の子ども達と、民族音楽の演奏と舞踏を通じて触れ合うことができます。何とワクワクする出会いでしょう。未来にむけて、特別な響きと、躍動を見せてくれるものと期待し、この場をご用意いただきました皆さまに深く感謝申し上げます。